弘前地区消防事務組合

Hirosaki District Fire Department

高度救助用器具

ちちゅうおんきょうたんちき
地中音響探知機

振動、音響センサーを使用し崩壊した建物等の下や土砂の下敷きなどで、身動きの取れない要救助者を振動や音で探索して居場所を検知することができます。振動センサーは建物の材料を通して伝わる要救助者の動きや、救助を求める動作により生じるとても小さい震動を電気的に増幅して検出します。音響センサーはスピーカーとマイクが内蔵されており、小さい音を捉えて増幅し、救助者と要救助者の間で会話をすることができ、録音することもできます。

がぞうたんさくき
画像探索機

倒壊した建物や瓦礫の隙間などの狭い場所にレンズがついた長さ７．５ｍ、直径６㎜のチューブを差し込み、内部状況をモニターで見ながら要救助者を探すことができます。また、写真や動画の撮影、音を聞くことができるほか、ガス濃度の測定や新鮮な空気を送ることもできます。

ねつがぞうちょくしそうち

熱画像直視装置

目視不能な濃煙内や暗夜におい て、逃げ遅れた要救助者や熱源を 熱画像サーモグラフィーで表示するため、要救助者の有無、火点、 残火の状況を早期に発見できるものです。

やかんようあんしそうち

夜間用暗視装置

暗闇でもわずかな光を増幅できる装置で、鮮明に暗所の状況を確認することができます。小型・軽量化のため片手で簡単に操作ができ、要救助者を探したり、情報収集や監視活動に効果を発揮します。

じしんけいほうき

地震警報器

地震が発生すると本震よりも先に到着するＰ波と言われる初期微動を素早く検知し、主要動の発生を警告する可搬型の警報地震計です。 地盤の震動を監視し、あらかじめ設定しておいた警報レベルを超えると、モニターに震度を表示するとともに、携帯型の受信機により無線で警報をキャッチして活動している隊員が振動や光、音により警報を確認することができます。